令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

| 科目名 | 文学国語 | 単位数 | 3 | 必修・選択 | 対象学年 | 2学年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 新編　文学国語　（大修館書店） | | | | | |
| 副教材等 | 新全訳古語辞典（大修館書店） | | | | | |

1　学習の目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

2　道徳教育，キャリア教育との関連

| | |
|---|---|
| 道徳教育 | 文学国語に関する関心を深め、国語を尊重することにより日本の伝統と文化を尊重する態度を育成する。 |
| キャリア教育 | 伝統的な言語文化である文学国語を読むことを通して、我が国の文化の特質としての人生観、自然観、美意識、言語観について考えを深め、社会生活において相互伝達、相互理解を進めていく能力を高める。 |

3　授業形態と学習方法

| | |
|---|---|
| 授業形態 | 基本的には一斉授業形式で行う。教科書、ワークシート、必要に応じ便覧も使用する。 |
| 学習方法 | ・一斉授業の中でペアワークやグループワークを実施する。<br>・指示されたことには確実に取り組む。授業では黒板に書かれたことをただ書き写すのではなく、進んでメモをとる。<br>・提出課題、小テストを適宜行い、評価に加える。単元ごとにワークシート提出を行い、評価に加える。 |

4　評価規準

| 知識・技能　知 | 思考・判断・表現　思 | 主体的に学習に取り組む態度　主 |
|---|---|---|
| ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めようとしている。 | ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広めたり深めたりしようとしている。 | ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。 |

5　学習計画

| | 単元名 | 学習活動(指導内容) | 時間 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|
| 前期 | 1　明日をひらく | 村上春樹「少なくとも最後まで歩かなかった」<br>書く　言葉でスケッチ<br>□表現① | 7 | ・ワークシートへの記述(知)(思)<br>・学習活動の取組(主)　定期考査 |
| | 2　小説を楽しむ | 井上ひさし「ナイン」<br>文学の窓１（本の世界を広げよう）<br>□評論① | １１ | ・ワークシートへの記述(思)<br>・学習活動の取組(主)　定期考査 |
| | 3　古典の世界 1 | 醒睡笑「星取り」<br>沙石集「児の飴食ひたること」<br>□語彙① | 7 | ・ワークシートへの記述(知)(思)<br>・学習活動の取組(主) |
| | 4　詩を味わう | 高村光太郎「道程」・室生犀星「小景異情」<br>宮沢賢治「永訣の朝」<br>文学の窓２（詩の展開）<br>□表現② | １０ | ・ワークシートへの記述(知)(思)<br>・学習活動の取組(主)　定期考査 |
| | 5　名作を読む | 山月記（中島敦）<br>文学の窓３（生まれ変わる文学）<br>□評論② | １１ | ・ワークシートへの記述(知)(思)<br>・学習活動の取組(主)　定期考査 |
| | 6　古典の世界 2 | 竹取物語「かぐや姫の昇天」<br>伊勢物語「月やあらぬ」<br>□語彙② | 7 | ・ワークシートへの記述(知)(思)<br>・学習活動の取組(主)　定期考査 |
| | 定期考査（中間考査・期末考査） | | 2 | |
| 後期 | 7　社会に生きる | 三浦しをん「神去なあなあ日常」<br>文学の窓４（社会と文学）<br>□表現③ | １０ | ・ワークシートへの記述(知)(思)<br>・学習活動の取組(主)　定期考査 |
| | 8　表現を味わう | 米原万里「身内ほどやっかいなものはない」<br>書く　思いを言葉に<br>□評論③ | １１ | ・ワークシートへの記述(知)(思)<br>・学習活動の取組(主)　定期考査 |
| | 9　古典の世界 | 枕草子「はしたなきもの」<br>徒然草「手のわろき人の」<br>方丈記「行く河の流れ」<br>□語彙③ | 7 | ・ワークシートへの記述(知)(思)<br>・学習活動の取組(主)　定期考査 |
| | １０　読書の広場 | 辻村深月「さくら日和」<br>浅田次郎「鉄道員」<br>□表現④ | １３ | ・ワークシートへの記述(知)(思)<br>・学習活動の取組(主)　定期考査 |
| | １１　現代の恋　近代の恋　古典の恋 | □評論④ | 7 | ・ワークシートへの記述(知)(思)<br>・学習活動の取組(主) |
| | 定期考査（中間考査・期末考査） | | 2 | |

6　単位認定の要件

欠課時数が3割を超えないこと。学年末評定において「1」が付かないこと。

7　教科担任より

授業では、文学的文章の本文を読むだけではなく、見たり、聞いたり、話したり、書いたりする活動も多くあります。また、教科書の本文について、他本の本文や他の分野の本文と比較したり、調べて発表したりする場面もあります。古典の読解の関係で、日本の思想、文化についても、情報収集、考察をします。配られたワークシート類はファイルにはさんで大切に保管し、復習した上で考査に臨みましょう。提出物の期限を守ることは、とても大切なことです。

# 令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

| 科目名 | 公共 | 単位数 | 3 | 必修・選択 | 対象学年 | ２学年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 公共　新訂版　共に作る未来（実教出版） | | | | | |
| 副教材等 | 「公共マイノート」（実教出版） | | | | | |

１．学習の目標

(1) 考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し，諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
(3) よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。
(4) 地域探究学習「ふるさと高校生議会」の探究学習を通して、地方自治、上ノ国町の諸課題について学習し子ども議会で質問する。

２．道徳教育，キャリア教育との関連

| | |
|---|---|
| 道徳教育 | 広く、自らの個性を発揮、伸長しつつ、文化と福祉の向上、発展に貢献する能力と、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現、推進に向けて主体的に社会の形成に参画、協力する態度を育む。 |
| キャリア教育 | 人間としての在り方・生き方についての自覚を育て、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。 |

３．授業形態と学習方法

| | |
|---|---|
| 授業形態 | ○基本的に一斉授業形式で行う。ワークシートを配布します。配布物を整理するために、ファイルを必ず用意してください。授業中、主にワークシートを使用して授業を行います。<br>○教科書，ファイル(プリントを閉じる)<br>○定期考査を行う。（前期中間，前期末，後期中間，学年末） |
| 学習方法 | 授業中、主にワークシートを使用して授業を行いますが、空欄の穴埋めだけでなく、説明の内容や疑問に思ったことをメモする習慣をつけてください。 |

４．評価規準

| 知識・技能　知 | 思考・判断・表現　思 | 主体的に学習に取り組む態度　主 |
|---|---|---|
| 現代の政治、経済、国際関係に対して関心を高めていくとともに、意欲的に課題を追究し、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進を図るため客観的に考察しようとしている。 | 現代の政治、経済、国際関係に関する諸課題を発見し、その本質や特質、さらには望ましい解決の在り方について広い視野に立ち、多面的・多角的に考察するとともに、様々な立場を踏まえて公正な判断をしている。 | 現代の政治、経済、国際関係に関した諸資料を様々なメディアにより収集し、有用な情報を主体的に選択・活用するとともに、それを追究していく過程や結果について様々な方法を駆使して適切に表現していくことができる。 |

５．学習計画

| | 単元名 | 学習活動(指導内容) | 予定時間 | 実施時間 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前期 | 第１部　公共の扉<br>第１章　社会を作る私たち | 1　青年期とは<br>2　自己形成の課題（1）<br>3　自己形成の課題（2）<br>4　職業生活と社会参加<br>5　伝統・文化と私たち | 14 | | ・考査(知，思，主)<br>・課題への取組(主)<br>・授業への取組(知，思，主)<br>・ワークシート(思，主)<br>・考えてみよう(主) |
| | 第２章　人間としてよく生きる<br><br><br><br>第３章　他者と共に生きる<br><br>第４章　民主社会の倫理<br><br>第５章　民主国家における基本原理 | 1　古代ギリシャの人間観<br>2　科学と人間<br>3　自由の実現<br>4　社会を作る人間<br>1　人間と幸福<br>2　公正な社会をめざして<br>1　人間の尊厳と平等<br>2　自由・権利と責任・義務<br>1　民主政治の成立<br>2　民主政治の基本原理<br>3　民主政治のしくみと課題<br>4　世界の主な政治制度 | 19 | | ・考査(知，思，主)<br>・課題への取組(主)<br>・授業への取組(知，思，主)<br><br>・ワークシート(思，主)<br>・考えてみよう(主) |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第２部　よりよい社会の形成に参加する私たち<br>第１章　日本国憲法の基本的性格 | 1　日本国憲法の成立<br>2　日本国憲法の基本的性格<br>3　自由に生きる権利<br>4　平等に生きる権利<br>5　社会権と参政権・請求権<br>6　新しい人権<br>7　人権の広がりと公共の福祉<br>8　平和主義とわが国の安全<br>9　今日の防衛問題 | | | |
| | 定期考査 | 中間考査・期末考査 | 2 | | ・考査(知, 思, 主) |
| 後期 | 第２章　日本の政治機構と政治参加 | 1　政治機構と国会<br>2　行政権と行政機能の拡大<br>3　公正な裁判の保障<br>4　地方自治と住民福祉<br>5　政党政治<br>6　選挙制度<br>7　世論と政治参加 | 15 | | ・課題への取組(主)<br>・授業への取組(知, 思, 主)<br>・ワークシート(思, 主)<br>・考えてみよう(主) |
| | 経済<br>第１章　現代の経済社会 | 1　経済主体と経済活動の意義<br>2　経済社会の変容<br>3　市場のしくみ<br>4　市場の失敗<br>5　現代の企業<br>6　国民所得<br>7　経済成長と国民の福祉<br>8　金融の役割<br>9　日本銀行の役割<br>10　財政の役割と租税<br>11 日本の財政の課題 | 16 | | ・課題への取組(主)<br>・授業への取組(知, 思, 主)<br>・ワークシート(思, 主)<br>・考えてみよう(主) |
| | 第二章　日本経済の特質と国民生活<br><br>国際<br>第一章　国際政治の動向と課題<br><br>第二章　国際経済の動向と課題 | 1　戦後日本経済の特質と国民生活<br>2　転機に立つ日本経済<br>3　経済社会の変化と中小企業<br>4　農業と食糧問題<br>5　消費者問題<br>6　公害の防止と環境保全<br>7　労働問題と労働者の権利<br>8　こんにちの労働問題<br><br>1　国際社会と国際法<br>2　国際連合と国際協力<br>3　こんにちの国際政治<br>4　人種・民族問題<br>5　軍拡競争から軍縮へ<br>6　国際平和と日本の役割<br>1　貿易と国際収支<br>2　外国為替市場のしくみ<br>3　第二次政界大戦後の国際経済<br>4　地域的機材統合の進展<br>5　国際経済のつながりと課題<br>6　発展途上孝の諸課題と日本の役割 | 2 | | ・考査(知, 思, 主), 振り返り(主)<br>・課題への取組(主)<br>・授業への取組(知, 思, 主)<br>・ワークシート(思, 主)<br>・考えてみよう(主) |
| | 定期考査 | 中間考査, 学年末考査 | 2 | | ・考査(知, 思, 主) |

6．単位認定の要件

欠課時数が３割を超えないこと。
学年末評定において「１」が付かないこと。

7　教科担任より

基礎知識を学習し、思想家の考え方や視点を通して自分の思考を検証し、よりよい生き方とは何かを見つけよう。また、現代社会の仕組みを理解し、自分だったらどう考えるか（どうするか）を意識し、社会に出て何か困ったときに解決するための力をつけよう。

令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

| 科目名 | 数学Ａ | 単位数 | 2 | 必修・選択 | 対象学年 | ２学年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 改訂版　新編　数学Ａ　（数研出版） | | | | | |
| 副教材等 | 改訂版　教科書傍用　３TRIAL　（数研出版） | | | | | |

１．学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
⑴ 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。
⑵ 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を養う。
⑶ 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

２．道徳教育，キャリア教育との関連

| | |
|---|---|
| 道徳教育 | 数学的活動をとおして、原理や法則の体系的な理解を深め、数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。 |
| キャリア教育 | 数学的活動をとおして、創造性の基礎を養うとともに、事象を数学的に考察し処理する能力を高める。 |

３．授業形態と学習方法

| | |
|---|---|
| 授業形態 | 習熟度別２段階クラス編成で授業を行います。応用クラスは遠隔授業になります。<br>授業の進度は基礎と応用に変わりありませんが、基礎クラスは基礎から確実に学力が定着することをねらいとし、応用クラスはより応用的な力が身に付くことをねらいとして授業を行います。 |
| 学習方法 | １　まずは授業を大切にしてください。<br>　ノートを取ることよりも、先生の話に集中し理解する。話の中で大事だと思った事は、すぐにメモを取る。板書を写すだけでなく、後で勉強しやすいように、自分だけのノートを作り上げてください。<br>２　予習・復習を行ってください。<br>　宿題をすることは当然のことですが、その日のうちに授業の復習をしなければ、どんどん忘れます。復習をした後は、明日の予習。教科書を読み例題を解きましょう。数学の力は「どれだけ問題数を解いたか」で決まります。１日５問でも、１年で約１８００問。積み重ねを大事にしてください。 |

４．評価規準

| 知識・技能　知 | 思考・判断・表現　思 | 主体的に学習に取り組む態度　主 |
|---|---|---|
| ・図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。<br>・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている | ・図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を身に付けている。 | ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。<br>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。 |

５．学習計画

| | 単元名 | 学習活動(指導内容) | 時間 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|
| 前期 | 準備 | 集合 | 4 | ・考査(知，思，主)，振り返り(主)<br>・小テストの結果(知)<br>・ワークシートへの記述(思)<br>・学習活動の取組(主) |
| | 第１章　場合の数と確率 | 第１節　場合の数<br>第２節　確率 | 29 | ・考査(知，思，主)，振り返り(主)<br>・小テストの結果(知)<br>・ワークシートへの記述(思)<br>・学習活動の取組(主) |
| | 定期考査 | 中間考査，期末考査 | 2 | |
| 後期 | 第１章　場合の数と確率 | 第２節　確率 | 7 | ・考査(知，思，主)，振り返り(主)<br>・小テストの結果(知)<br>・ワークシートへの記述(思)<br>・学習活動の取組(主) |
| | 第２章　図形の性質 | 第１節　平面図形<br>第２節　空間図形 | 26 | ・考査(知，思，主)，振り返り(主)<br>・小テストの結果(知)<br>・ワークシートへの記述(思)<br>・学習活動の取組(主) |
| | 定期考査 | 中間考査，学年末考査 | 2 | |

６．単位認定の要件

欠課時数が３割を超えないこと。
学年末評定において「１」が付かないこと。

７．教科担任より

数学は計算をしないとすぐに忘れます。忘れないためにも授業で終わりにせず、復習をしてください。
またあきらめずに計算することが大事です。わからないからといってすぐにあきらめないで先生方に聞いてください。

# 令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

| 科目名 | 生物基礎 | 単位数 | 2 | (必修)・選択 | 対象学年 | 2学年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 改訂版　新編　生物基礎(数研出版) | | | | | |
| 副教材等 | ワーク：改訂版　生物基礎学習ノート(数研出版) | | | | | |

１．学習の目標

(1) 日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
(2) 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
(3) 生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

２．道徳教育，キャリア教育との関連

| | |
|---|---|
| 道徳教育 | 自然と人間のかかわりについて認識を深め、観察や実験を行い、科学的な探求能力を育て、真理を大切にする態度を育成する。 |
| キャリア教育 | 自然の事物・現象を観察する力を育成し、自ら論考・探求する力を育む。 |

３．授業形態と学習方法

| | |
|---|---|
| 授業形態 | ○基本的に一斉授業形式で行う。実験等がある場合，適宜化学教室で授業を行う。<br>○筆記用具として最低３色(黒，赤，もう一色)は準備すること。<br>○教科書，ファイル(プリントを閉じる)，ワーク，資料集を持ってくること。 |
| 学習方法 | 通常の授業では話をしっかり聴き，プリントに記入していくこと。特にプリントの内容だけでなく話の内容からメモをとり，自分だけのプリントを作り上げる，ということを意識すること。<br>プリントは適宜回収，評価する。 |

４．評価規準

| 知識・技能 [知] | 思考・判断・表現 [思] | 主体的に学習に取り組む態度 [主] |
|---|---|---|
| 日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 | 観察，実験などを行い，科学的に探究することができる。 | 生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとしている。また，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与しようとしている。 |

５．学習計画

| | 単元名 | 学習活動(指導内容) | 時間 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|
| 前期 | １章<br>生物の特徴 | １節　生物の共通性と多様性<br>２節　細胞とエネルギー<br>３節　呼吸と光合成 | 14 | ・テスト(知，思，主)，振り返り(主)<br>・課題，レポートへの取組(主)<br>・授業への取組(知，思，主)<br>・ワーク(思，主) |
| | ２章<br>遺伝子とその働き | １節　遺伝情報とＤＮＡ<br>２節　遺伝情報の複製と分配<br>３節　遺伝情報の発現 | 19 | ・テスト(知，思，主)，振り返り(主)<br>・課題，レポートへの取組(主)<br>・授業への取組(知，思，主)<br>・ワーク(思，主) |
| | 定期考査 | 中間考査，期末考査 | 2 | |
| 後期 | ３章<br>生物の体内環境とその維持 | １節　体内での情報伝達と調節<br>２節　体内環境の維持のしくみ<br>３節　免疫のはたらき | 21 | ・テスト(知，思，主)，振り返り(主)<br>・課題，レポートへの取組(主)<br>・授業への取組(知，思，主)<br>・ワーク(思，主) |
| | ４章<br>生物の多様性と生態系 | １節　植生と遷移<br>２節　気候とバイオーム<br>３節　生態系とその保全<br>４節　生態系のバランスと保全 | 12 | ・テスト(知，思，主)，振り返り(主)<br>・課題，レポートへの取組(主)<br>・授業への取組(知，思，主)<br>・ワーク(思，主) |
| | 定期考査 | 中間考査，学年末考査 | 2 | |

６．単位認定の要件

欠課時数が３割を超えないこと。
学年末評定において「１」が付かないこと。

７．教科担任より

生物基礎では、定期テストを行います。語句の暗記だけでなく，「しくみ」や「意味」を科学的に理解しようとする態度は，生物基礎に限らず役立つはずです。上ノ国町は自然に恵まれた町なので、身近な植物や動物を注意深く観察して不思議に思うことを見つけていきましょう。

# 令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

| 科目名 | 化学基礎 | 単位数 | 2 | (必修)・選択 | 対象学年 | ２学年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 改訂版　新編　化学基礎(数研出版) | | | | | |
| 副教材等 | ワーク：改訂版　新編　化学基礎　準拠　サポートノート(数研出版) | | | | | |

１．学習の目標

(1) 日常生活や社会との関連を図りながら，物質とその変化について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
(2) 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
(3) 物質とその変化に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

２．道徳教育，キャリア教育との関連

| | |
|---|---|
| 道徳教育 | 自然と人間のかかわりについて認識を深め、観察や実験を行い、科学的な探求能力を育て、真理を大切にする態度を育成する。 |
| キャリア教育 | 自然の事物・現象を観察する力を育成し、自ら論考・探求する力を育む。 |

３．授業形態と学習方法

| | |
|---|---|
| 授業形態 | ○基本的に教室にて一斉授業形式で行う。実験等がある場合，適宜化学教室にて授業を行う。<br>○教科書，ファイル(２つ穴)，ワークを持ってくること。 |
| 学習方法 | 通常の授業では話をしっかり聴き，プリントの穴埋めをしていくこと。特にプリントの内容だけでなく話の内容からメモをとり，自分だけのプリントを作り上げる，ということを意識すること。 |

４．評価規準

| 知識・技能　知 | 思考・判断・表現　思 | 主体的に学習に取り組む態度　主 |
|---|---|---|
| 日常生活や社会との関連を図りながら，物質とその変化について基本的な概念等を身につけ，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 | 観察，実験などを行い，科学的に探究することができる。 | 物質とその変化に主体的に関わり，科学的に探究しようとしている。 |

５．学習計画

| | 単元名 | 学習活動(指導内容) | 実施 | 予定 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前期 | 序章<br>計算の基本 | 0節　理科に用いる計算方法 | | 1 | ・授業への取組(知，思，主)・プリント(思，主)　・ミニテスト(知，思)， |
| | １章<br>物質の構成 | 1節　混合物と純物質<br>2節　物質とその成分<br>3節　物質の三態と熱運動 | | 8 | ・テスト(知，思)，振り返り(主)<br>・課題，レポートへの取組(思，主)<br>・授業への取組(知，思，主)・プリント(思，主) |
| | ２章<br>物質の構成粒子 | 1節　原子とその構造<br>2節　イオン<br>3節　元素の周期表 | | 10 | ・テスト(知，思)，振り返り(主)<br>・課題，レポートへの取組(思，主)<br>・授業への取組(知，思，主)・プリント(思，主) |
| | ３章<br>粒子の結合 | 1節　イオン結合とイオンからなる物質<br>2節　分子と共有結合<br>3節　共有結合の結晶<br>4節　金属結合と金属 | | 14 | ・テスト(知，思)，振り返り(主)<br>・課題，レポートへの取組(思，主)<br>・授業への取組(知，思，主)・プリント(思，主) |
| | 定期考査 | 中間考査，期末考査 | | 2 | |
| 後期 | １章<br>物質量と化学反応式 | 1節　原子量・分子量・式量<br>2節　物質量<br>3節　溶液の濃度<br>4節　化学反応式と物質量 | | 11 | ・テスト(知，思)，振り返り(主)<br>・課題，レポートへの取組(思，主)<br>・授業への取組(知，思，主)・プリント(思，主) |
| | ２章<br>酸と塩基の反応 | 1節　酸・塩基<br>2節　水の電離と水溶液の pH<br>3節　中和反応と塩<br>4節　中和滴定 | | 12 | ・テスト(知，思)，振り返り(主)<br>・課題，レポートへの取組(思，主)<br>・授業への取組(知，思，主)・プリント(思，主) |
| | ３章<br>酸化還元反応 | 1節　酸化と還元<br>2節　酸化剤と還元剤<br>3節　金属の酸化還元反応<br>4節　酸化還元反応の利用 | | 10 | ・テスト(知，思)，振り返り(主)<br>・課題，レポートへの取組(思，主)<br>・授業への取組(知，思，主)・プリント(思，主) |
| | 定期考査 | 中間考査，学年末考査 | | 2 | |

６．単位認定の要件

欠課時数が３割を超えないこと。学年末評定において「１」が付かないこと。

７．教科担任より

化学は身の廻りの現象を取り扱う分野です。専門用語だけでなく計算も『かなり』多いので，授業をしっかり受け，テストに向けてしっかりと復習するように！また，テストだけでなく，授業に取り組む姿なども含めて評価するので日頃からコツコツ頑張りましょう。

# 令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

| 科目名 | 体育 | 単位数 | 3 | 必修・選択 | 対象学年 | 2学年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 現代高等保健体育（大修館書店） | | | | | |
| 副教材等 | ワーク：現代高等保健体育ノート（大修館書店）　ステップアップ高校スポーツ 2023 | | | | | |

1．学習の目標

(1) 運動の合理的，計画的な実践を通して，運動の楽しさや喜びを深く味わい，生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため，運動の多様性 や体力の必要性について理解するとともに，それらの技能を身に付けるようにする。
(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
(3) 運動における競争や協働の経験を通して，公正に取り組む，互いに協力する，自己の責任を果たす，参画する，一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに，健康・安全を確保して，生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

2．道徳教育・キャリア教育

| | |
|---|---|
| 道徳教育 | 運度の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや自身の課題を見つけ、パフォーマンス向上に向けた取り組みを積極的に行う姿勢と仲間を大切にする態度育成する。 |
| キャリア教育 | 運動における協働の経験を通し、ルールを守り、安全に、互いに協力し合いながら自己の責任を果たす態度を育成する。 |

3．授業形態と学習方法

| | |
|---|---|
| 授業形態 | (実技)・体育館またはグラウンドにて各種目の実技<br>・男女共修（種目や時期によって１～３学年合同）<br>・種目毎にスキルテスト実施<br>(体育理論)・教室にて座学またはグループ学習 |
| 学習方法 | (実技) 事前準備、整理・整頓、準備運動、種目説明、部分練習、応用練習、後片付け、整列・挨拶<br>(体育理論) 教科書、授業プリント、学習シート、端末等使用し知識を深める。 |

4．評価の種類

| 知識・技能 知 | 思考・判断・表現 思 | 学びに向かう力 主 |
|---|---|---|
| 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けようとしているか。 | 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えているか。 | 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む，互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する，一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保しようとしているか。 |

5．評価基準
※　別紙参照

| 前期評定 | 後期評定 | 観点別評価（基準） |
|---|---|---|
| 5 | 5 | AAA　AAB　ABA　BAA |
| 4 | 4 | ABB　AAC　ACA　BAB　BBA |
| 3 | 3 | ABC　ACB　BAC　BBB　CAA　BCA<br>CAB　CBA　ACC　BBC　BCB　CBB |
| 2 | 2 | CAC　CCA　BCC　CBC　CCB |
| 1 | 1 | CCC |

A：十分満足できる　B：おおむね満足できる　C：努力を要する

6．学習活動

| | 単元名 | 学習活動（指導内容） | 時間 | 実施 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前期 | 体つくり運動（4月） | ・オリエンテーション<br>・体つくり運動<br>・体力測定 | １０ | | ・スキルテスト知<br>・授業観察思<br>・試合観察知・思・主 |
| | 陸上競技（5月～6月） | ・短距離<br>・持久走 | １５<br>１５ | | ・ワークシート思・主 |
| | 器械運動（6月～8月） | ・マット運動 | | | |
| | ソフトボール（8月～9月） | ・投球、打撃、守備、走塁練習<br>・ゲームのルール | １５ | | ・スキルテスト知<br>・授業観察思<br>・試合観察知・思・主<br>・ワークシート思主 |
| | | | 計　５５ | | |
| 後期 | 柔道（１０月） | ・礼法、受身、体さばき、投げ技 | ８ | | ・スキルテスト知<br>・授業観察思<br>・試合観察知・思・主<br>・体育ノート思・主 |
| | 選択①（１０月～１２月）<br>・バドミントン<br>・現代的なリズムのダンス | 【　後期選択体育について　】<br>・選択した実施種目の計画を立てる<br>・指定された実技試験内容に基づき、１８時間で計画を立てる | １８ | | |
| | 選択②（1月～3月）<br>・バレーボール<br>・バスケットボール | ・実技試験の実施は１２時間目で実施、残りの６時間はゲームを中心とした内容で計画する。 | １８ | | |
| | 体育理論（3月） | ・座学、グループ学習、確認テスト | ６ | | |
| | | | 計　５０<br>累計　１０５ | | |

7．単位認定の要件

欠時数が３割を超えないこと
学年末評定において「1」がつかないこと。

8．教科担任より

運動が得意な人も苦手な人も、運動の楽しさや大切さ、奥深さを存分に感じてほしいと思います。積極的に取り組もう！

# 令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

| 科目名 | 保健 | 単位数 | 1 | 必修・選択 | 対象学年 | 2学年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 現代高等保健体育（大修館書店） | | | | | |
| 副教材等 | ワーク：現代高等保健体育ノート（大修館書店） | | | | | |

1．学習の目標

(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに，技能を身に付けるようにする。
(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2．道徳教育・キャリア教育

| | |
|---|---|
| 道徳教育 | 学習した内容が自身の生活・将来の生活に関連していることを認識し、実践する態度を育てる。 |
| キャリア教育 | 意見発表や討論などの言語活動を通してコミュニケーション能力の育成を図り、自他の生命を尊重する態度を育てる。 |

3．授業形態と学習方法

| | |
|---|---|
| 授業形態 | 教室にて、座学またはグループ学習 |
| 学習方法 | 教科書、ノート、資料等を用いて知識を深める。<br>単元により、意見発表やグループ討論を行い関心や理解を深める。 |

4．評価の種類

| 知識・技能　知 | 思考・判断・表現　思 | 学びに向かう力　主 |
|---|---|---|
| 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに，技能を身に付けようとしているか。 | 健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，目的や状況に応じて他者に伝えているか。 | 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指そうとしているか。 |

5．評価基準

【　知識　】

① 単元テスト、レポート、パワーポイント発表

【　思考・判断・表現　】前期

① 生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。
② 生涯を通じる健康について、自他や社会の課題の解決と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートに記述したりして、筋道を立てて説明している。

＋

③ **思春期と健康**について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。
③ **結婚生活と健康**について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。
③ **加齢と健康**について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取り組みと社会的対策を評価している。

【　思考・判断・表現】後期

① 健康を支える環境づくりにおける事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。
② 健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。

＋

③ **人間の生活や産業活動**などによって引き起こされる**自然環境汚染**について、事例を通じて整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。
③ **食品の安全性と食品衛生**に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てている。
③ **医薬品の制度とその活用**について、医薬品には、承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。
③ 地**域の保健・医療機関**や**スポーツ施設の活用**の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用している。

【　学びに向かう力　】

① 単元毎の課題解決に向けた学習活動に主体的に取り組んでいる。

| 前期評定 | 後期評定 | 観点別評価（基準） |
|---|---|---|
| 5 | 5 | AAA　AAB　ABA　BAA |
| 4 | 4 | ABB　AAC　ACA　BAB　BBA |
| 3 | 3 | ABC　ACB　BAC　BBB　CAA　BCA<br>CAB　CBA　ACC　BBC　BCB　CBB |
| 2 | 2 | CAC　CCA　BCC　CBC　CCB |
| 1 | 1 | CCC |

A：十分満足できる　B：おおむね満足できる　C：努力を要する

6．学習活動

| | 単元名 | 学習活動（指導内容） | 時間 | 実施 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前期 | **生涯を通じる健康** | ００ オリエンテーション（４月）<br>０１ ライフステージと健康（４月）<br>０２ 思春期と健康（４月）<br>０３ 性意識と性行動の選択（５月）<br>→ **レポート作成（思春期・性について）**<br>０４ 妊娠・出産と健康（６月）<br>０５ 避妊法と人工妊娠中絶（６月）<br>０６ 結婚生活と健康（７月）<br>０７ 中高年期と健康（７～８月）<br>→ **レポート作成（妊娠出産・中高年期のどちらか）**<br>**単元テスト** | 1<br>1<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>1 | | ・単元テスト 知・思<br>・授業観察 思・主<br>・レポート 知・思<br>・ノート 主 |
| | | | 計 １５ | 計 | |
| 後期 | **健康を支える環境づくり** | ０１大気汚染と健康（１０月）<br>０２水質汚濁・土壌汚染と健康（１０月）<br>→ **パワーポイント作成**<br>**・ 大気汚染、水質汚濁、土壌汚染から１つ**<br>**発表会練習**<br>**発表会①（１１月）**<br>**発表会②（１１月）**<br>０３ 環境と健康に関わる対策（１２月）<br>０４ ごみの処理と上下水道の整備（１２月）<br>０５ 食品の安全性（１２月）<br>０６ 食品衛生に関わる活動（１月）<br>０７ 保健サービスとその活用（１月）<br>０８ 医療サービスとその活用（１月）<br>０９ 医薬品の制度とその活用（２月）<br>**→パワーポイント作成（単元から１つ選択）**<br>**・ 環境、食品、医療・医薬品から１つ**<br>**発表会①（３月）**<br>**発表会②（３月）** | 1<br>1<br>3<br>3<br>1<br>1<br>2<br>1<br>1<br>1<br>3<br>1<br>1 | | ・発表会 知・思<br>・授業観察 思・主<br>・ノート 主 |
| | | | 計 ２０<br>累 ３５ | 計<br>累 | |

7．単位認定の要件

欠時数が３割を超えないこと
学年末評定において「１」がつかないこと。

8．教科担任より

保健の授業はよりよい生活をするために必要な授業です。一生懸命取り組もう！

# 令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

| 科目名 | 英語コミュニケーションⅡ | 単位数 | 3 | 必修・選択 | 対象学年 | ２学年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | Vivid English Communication II（第一学習社） | | | | | |
| 副教材等 | 総合英語　be 4th Edition（いいずな書店）<br>総合英語be 4th Edition English Grammar 24（いいずな書店）<br>必修英単語　LEAP　Basic（数研出版） | | | | | |

## １．学習の目標

英語学習の特質を踏まえ，聞くこと，読むこと，話すこと［やり取り］，話すこと［発表］，書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して，「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに，その過程を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。

## ２．道徳教育、キャリア教育との関連

| | |
|---|---|
| 道徳教育 | 異文化を尊重し言語によるコミュニケーションを図り、国際的視野に立って世界の平和と人類の幸福に貢献する態度を育てる。 |
| キャリア教育 | 外国語を通して、言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションに対する積極的な態度の育成と、相手の意見の理解力や自分の意見の表現力を養う。 |

## ３．授業形態と学習方法

| | |
|---|---|
| 授業形態 | ○　通常授業はクラスにて一斉授業を行う。<br>○　通常授業で必要な物：教科書１冊、副教材１冊、ファイル、タブレット（テスト時）<br>○　授業で習った英語表現をペア・グループワークの中で、アクティビティ（活動）をしながら練習する。<br>○　レッスン毎にスピーキングテスト又は、ライティングテストを行う。 |
| 学習方法 | 板書に相当する内容が書かれているハンドアウトを配布します。教員は基本的にこのハンドアウトとテレビを使い、授業を行います。グーグルクラスルームも活用します。 |

## ４．評価規準

| 知識・技能　知 | 思考・判断・表現　思 | 主体的に学習に取り組む態度　主 |
|---|---|---|
| 外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 | コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。 | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。 |

## ５．学習計画

| | 単元名 | 学習活動(指導内容) | 計画時間 | 実施時間 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前期 | Unit１ Lesson１ | Japanese Athletes and English | 26 | | ・小テスト(知、思、主)、振り返り(主)<br>・確認テスト(知、思)<br>・課題への取組(主)<br>・授業への取組(知、思、主)<br>・ワークシート(思、主) |
| | Unit１ Lesson３ | Preparing for Potential Risks | 26 | | |
| 後期 | Unit１ Lesson４ | To Make a More Open Society | 26 | | ・小テスト(知、思、主)、振り返り(主)<br>・確認テスト(知、思)<br>・課題への取組(主)<br>・授業への取組(知、思、主)<br>・ワークシート(思、主) |
| | Unit１ Lesson５ | True Love between a Cat and a Dog | 27 | | |

## ６．単位認定の要件

欠課時数が３割を超えないこと。
学年末評定において「１」が付かないこと。

## ７．教科担任より

授業では音読、ペアワーク、グループワーク、アクティビティ、プレゼンテーションなど個人で行う内容と集団で行う内容があり、授業形態が切り替わります。授業には集中して臨み、指示を聞き逃さないようにしてください。プレゼンテーションを行う前には、計画的に準備し、スクリプトを声に出して練習してから臨んでください。また、評価基準をふまえて準備を行ってください。小テストを行う際には、タブレット端末で自分のスピーキングを録画し、後に振り返ってもらいます。恥ずかしがらずに、自信を持って英語を話してください。

# 令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

| 科目名 | 数学Ⅱ | 単位数 | 4 | 必修・選択 | 対象学年 | ２学年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 新編　数学Ⅱ　（数研出版） | | | | | |
| 副教材等 | 教科書傍用　新課程　3TRIAL　数学Ⅱ　（数研出版） | | | | | |

## １．学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（1）いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
（2）数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
（3）数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

## ２．道徳教育，キャリア教育との関連

| | |
|---|---|
| 道徳教育 | 数学的活動をとおして、原理や法則の体系的な理解を深め、数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。 |
| キャリア教育 | 数学的活動をとおして、創造性の基礎を養うとともに、事象を数学的に考察し処理する能力を高める。 |

## ３．授業形態と学習方法

| | |
|---|---|
| 授業形態 | 授業は遠隔授業で行います。<br>＜遠隔授業について＞<br>(1) 授業者は対面授業時を除き、基本的に配信校から授業をします。授業中の質問や疑問等については随時対応しますが、申し出にくい場合などについては、教室にいる受信担当の先生に申し出ても構いません。<br>(2) 授業者が現地にいない分、皆さんの積極的な活動がより一層重要になります。メリハリをもって活動したり、わからないところを互いに教え合ったりすることは特に重要です。ぜひ、一緒に授業を「作っていく」つもりで参加してください。<br>(3) その他の遠隔授業の特性についてはオリエンテーション時に説明します。<br>＜学習の支援について＞<br>授業について、不安なことや気になること、配慮して欲しいことなどがあれば、可能な範囲で個別対応します。 |
| 学習方法 | １　まずは授業を大切にしてください。<br>　ノートを取ることよりも、先生の話に集中し理解する。話の中で大事だと思った事は、すぐにメモを取る。板書を写すだけでなく、後で勉強しやすいように、自分だけのノートを作り上げてください。<br>２　予習・復習を行ってください。<br>　宿題をすることは当然のことですが、その日のうちに授業の復習をしなければ、どんどん忘れます。復習をした後は、明日の予習。教科書を読み例題を解きましょう。数学の力は「どれだけ問題数を解いたか」で決まります。１日５問でも、１年で約１８００問。積み重ねを大事にしてください。 |

## ４．評価規準

| 知識・技能　知 | 思考・判断・表現　思 | 主体的に学習に取り組む態度　主 |
|---|---|---|
| ・いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。<br>・事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 | ・いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えにおいて、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。 | ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。<br>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。 |

## ５．学習計画

| | 単元名 | 学習活動(指導内容) | 時間 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|
| 前期 | 第１章　式と証明 | 第１節　式と計算<br>第２節　等式・不等式の証明 | 12 | ・考査(知，思，主)，振り返り(主)<br>・小テストの結果(知)<br>・ワークシートへの記述(思)<br>・学習活動の取組(主) |
| | 第２章　複素数と方程式 | 第１節　複素数と２次方程式の解<br>第２節　高次方程式 | 13 | ・考査(知，思，主)，振り返り(主)<br>・小テストの結果(知)<br>・ワークシートへの記述(思)<br>・学習活動の取組(主) |
| | 第３章　図形と方程式 | 第１節　点と直線<br>第２節　円<br>第３節　軌跡と領域 | 34 | ・考査(知，思，主)，振り返り(主)<br>・小テストの結果(知)<br>・ワークシートへの記述(思)<br>・学習活動の取組(主) |
| | 第４章　三角関数 | 第１節　三角関数 | 14 | ・考査(知，思，主)，振り返り(主)<br>・小テストの結果(知)<br>・ワークシートへの記述(思)<br>・学習活動の取組(主) |
| | 定期考査 | 中間考査，期末考査 | 2 | |
| 後期 | 第４章　三角関数 | 第２節　加法定理 | 12 | ・考査(知，思，主)，振り返り(主)<br>・小テストの結果(知)<br>・ワークシートへの記述(思)<br>・学習活動の取組(主) |
| | 第５章　指数関数と対数関数 | 第１節　指数関数<br>第２節　対数関数 | 14 | ・考査(知，思，主)，振り返り(主)<br>・小テストの結果(知)<br>・ワークシートへの記述(思)<br>・学習活動の取組(主) |
| | 第６章　微分法と積分法 | 第１節　微分係数と導関数<br>第２節　関数の値の変化<br>第３章　積分法 | 32 | ・考査(知，思，主)，振り返り(主)<br>・小テストの結果(知)<br>・ワークシートへの記述(思)<br>・学習活動の取組(主) |
| | 数学Ⅱまとめ | | 5 | ・学習活動の取組(主) |
| | 定期考査 | 中間考査，学年末考査 | 2 | |

## ６．単位認定の要件

欠課時数が３割を超えないこと。
学年末評定において「１」が付かないこと。

# 令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

| 科目名 | 簿記 | 単位数 | 4 | 必修・選択 | 対象学年 | ２学年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 新簿記　新訂版（実教出版） | | | | | |
| 副教材等 | 最新段階式　簿記検定問題集全商３級 | | | | | |

１．学習の目標

企業において日々発生する取引を合理的、能率的に記帳する知識と技術を身につけていきます。また取引の仕訳から勘定の記入を経て決算に至る一連の流れを通して、簿記の基本的な仕組みについて理解します。作成した帳票を通してビジネスの諸活動を計数的に把握する能力と態度を身につけます。全商簿記検定３級合格レベルを目指します。

２．道徳教育・キャリア教育

| | |
|---|---|
| 道徳教育 | 丁寧に作成する各帳票の作成をとおし、社会における簿記の重要さを理解し、ビジネスの諸活動に活用していこうとする態度を身につける。 |
| キャリア教育 | 簿記を通して、ビジネスにおけるマナーを学び、社会人としての資質・態度を身につける。 |

３．授業形態と学習方法

| | |
|---|---|
| 授業形態 | 授業は一斉授業で、視聴覚室で行います。<br>タブレット、教科書、問題集、プリントを使って授業を行います<br>定期考査は４回（前期中間・前期期末・後期中間・学年末）実施しますが、詳細については考査前に連絡をします。適宜小テストも実施します。 |
| 学習方法 | 自分できちんと内容を理解し、友達同士相談しながら授業に参加してください。自分が必要だと思ったことはメモを取るようにしてください。 |

４．評価基準

| 知識・技能　知 | 思考・判断・表現　思 | 主体的に学習に取り組む態度　主 |
|---|---|---|
| 簿記の基礎的・基本的な知識に身をつけ、簿記の一巡の手続きとその手順を理解するとともに、適切に判断し、工夫する能力を身につけている。 | 簿記に関する諸問題の解決を目指し、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用してその成果を的確に表現している。 | 企業の取引を記録・計算・整理する技術である簿記に興味を持ち、簿記の学習に自ら進んで取り組んでいる。 |

５．学習活動

| | 単元名 | 学習活動（指導内容） | 標準時間 | 評価方法 | 実施時間 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前期 | 第１編　簿記の基礎 | １章　簿記の基礎<br>２章　資産・負債・純資産と貸借対照表<br>３章　収益と費用と損益計算書<br>４章　取引と勘定<br>５章　仕訳と勘定 | 26 | ・考査（知、思、主）<br>・振り返り（主）<br>・確認テスト（知、思）<br>・課題への取組（知、思、主）<br>・授業への取組（知、思、主） | |
| | 第２編　取引の記帳（その１） | ６章　仕訳帳と総勘定元帳<br>７章　試算表<br>８章　精算表<br>９章　決算<br>10章　現金・預金などの取引<br>11章　商品売買の取引<br>12章　掛け取引 | 44 | ・考査（知、思、主）<br>・振り返り（主）<br>・確認テスト（知、思）<br>・課題への取組（知、思、主）<br>・授業への取組（知、思、主） | |
| | 定期考査 | 前期中間・期末考査 | 2 | | |
| 後期 | 第３編　決算(その１) | 13章　その他の債権・債務(その１)<br>14章　固定資産の取引<br>15章　販売費及び一般管理費の記帳<br>16章　決算整理（その１）<br>17章　８桁精算表 | 41 | ・考査（知、思、主）<br>・振り返り（主）<br>・確認テスト（知、思）<br>・課題への取組（知、思、主）<br>・授業への取組（知、思、主） | |
| | 第４編　記帳の効率化と会計帳簿<br>第５編　取引の記帳（その２） | 18章　帳簿決算<br>19章　会計帳簿<br>20章　伝票の利用<br>21章　手形の取引<br>22章　その他の債権・債務(その２)<br>23章　有価証券の取引<br>24章　個人企業の資本取引 | 25 | ・考査（知、思、主）<br>・振り返り（主）<br>・確認テスト（知、思）<br>・課題への取組（知、思、主）<br>・授業への取組（知、思、主） | |
| | 定期考査 | 後期中間考査・期末考査 | 2 | | |

６．単位認定の要件

欠課時数が３割を超えないこと。
学年末の成績で評定が「１」とならないこと。

７．教科担任より

ビジネスにおいて書類作成はとても重要な意味を持っています。簿記は家計簿の企業版であると考えることができます。経済の動きを感じながら簿記の基礎知識を身につけましょう。

# 令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

| 科目名 | 論理・表現Ⅰ | 単位数 | 3 | 必修・選択 | 対象学年 | 2学年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅰ（東京書籍） | | | | | |
| 副教材等 | Future Globe、New favorite English Logic and Expression | | | | | |

## １．学習の目標

多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，
1. 文脈にあった質問や答えを続けることで，情報や考え，気持ちなどを，やり取りを通して伝え合うことができる。
2. 論理の構成や展開を工夫することで，情報や考え，気持ちなどを，話して伝えることができる。
3. 論理の構成や展開を工夫することで，情報や考え，気持ちなどを，書いて伝えることができる。

## ２．道徳教育、キャリア教育との関連

| | |
|---|---|
| 道徳教育 | 異文化を尊重し言語によるコミュニケーションを図り、国際的視野に立って世界の平和と人類の幸福に貢献する態度を育てる。 |
| キャリア教育 | 外国語を通して、言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションに対する積極的な態度の育成と、相手の意見の理解力や自分の意見の表現力を養う。 |

## ３．授業形態と学習方法

| | |
|---|---|
| 授業形態 | ○　通常授業はクラスにて一斉授業を行う。<br>○　通常授業で必要な物：教科書１冊、副教材１冊、ファイル、タブレット（テスト時）<br>○　授業で習った英語表現をペア・グループワークの中で、アクティビティ（活動）をしながら練習する。<br>○　レッスン毎にスピーキングテスト又は、ライティングテストを行う。 |
| 学習方法 | 板書に相当する内容が書かれているハンドアウトを配布します。教員は基本的にこのハンドアウトとテレビを使い、授業を行います。グーグルクラスルームも活用します。 |

## ４．評価規準

| 知識・技能　知 | 思考・判断・表現　思 | 主体的に学習に取り組む態度　主 |
|---|---|---|
| Model の内容を理解している。<br>テーマに関連した活動に使える表現について理解している。（小テスト、評価問題など） | 授業中に言語活動の取り組みを積極的に行う。 | Make Your Own への取り組みを教員または生徒同士が評価する。<br>課題の内容や提出をする。 |

## ５．学習計画

| | 単元名 | 学習活動(指導内容) | 予定時間 | 実施時間 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前期 | Unit１ Lesson１ | 初めての食事 | 8 | | ・小テスト（知、思、主）、振り返り（主）<br>・確認テスト（知、思）<br>・課題への取組（主）<br>・授業への取組（知、思、主）<br>・ワークシート（思、主） |
| | Unit１ Lesson２ | 道に迷う | 8 | | |
| | Unit１ Lesson３ | 人物紹介 | 8 | | |
| | Unit１ Lesson４ | 体調が悪い | 9 | | |
| | Unit１ Lesson５ | 買い物 | 9 | | |
| | Unit１ Lesson６ | 行ってみたい場所 | 9 | | |
| 後期 | Unit１ Lesson７ | イベントに誘われる | 9 | | ・小テスト（知、思、主）、振り返り（主）<br>・確認テスト（知、思）<br>・課題への取組（主）<br>・授業への取組（知、思、主）<br>・ワークシート（思、主） |
| | Unit１ Lesson８ | スクールカウンセラーに相談 | 9 | | |
| | Unit１ Lesson９ | お気に入りを紹介 | 9 | | |
| | Unit１ Lesson10 | 待ち合わせに遅刻 | 9 | | |
| | Unit１ Lesson11 | 家庭でのディスカッション | 9 | | |
| | Unit１ Lesson12 | 英字新聞に投稿 | 9 | | |

## ６．単位認定の要件

欠課時数が３割を超えないこと。
学年末評定において「１」が付かないこと。

## ７．教科担任より

授業では音読、ペアワーク、グループワーク、アクティビティ、プレゼンテーションなど個人で行う内容と集団で行う内容があり、授業形態が切り替わります。授業には集中して臨み、指示を聞き逃さないようにしてください。プレゼンテーションを行う前には、計画的に準備し、スクリプトを声に出して練習してから臨んでください。また、評価基準をふまえて準備を行ってください。小テストを行う際には、タブレット端末で自分のスピーキングを録画し、後に振り返ってもらいます。恥ずかしがらずに、自信を持って英語を話してください。

# 令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

| 科目名 | 服飾手芸 | 単位数 | 2 | 必修・選択 | 対象学年 | ２学年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | |

## １．学習の目標

(1) 手芸の種類と特徴及び変遷，各種手芸の技法などについて体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
(2) 手芸の美的価値及び製作工程に関する課題を発見し，手芸品の製作と服飾への活用を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
(3) 手芸品の製作を目指して自ら学び，創造的な製作と服飾への活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

## ２．道徳教育，キャリア教育との関連

| | |
|---|---|
| 道徳教育 | 衣生活に係る生活産業に関する事象を，協力・協働，健康・快適・安全，生活文化の伝承・創造，持続可能な社会の構築等の視点で捉え，創造的な手芸品の製作と服飾への活用と関連付ける。 |
| キャリア教育 | 創造的な手芸品の製作と服飾への活用を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。 |

## ３．授業形態と学習方法

| | |
|---|---|
| 授業形態 | ○座学（一斉授業，プリント学習）及び実技を伴う実習。 |
| 学習方法 | ○実習では基礎技術を身につけることを目的とするため、積極的に取り組むこと。 |

## ４．評価規準

| 知識・技能　知 | 思考・判断・表現　思 | 主体的に学習に取り組む態度　主 |
|---|---|---|
| 被服・手芸の基礎基本の知識や技能を身につけるとともに、その知識や技能を生かして被服・手芸作品を創造的に製作している。 | 手芸品に用いられる技法や特徴を理解し、日常生活において、自身のファッションデザインに生かす能力を身に付けている。 | 服飾手芸に関心をもち、手芸品の制作に意欲的に取り組むとともに、実践的な能力を身に付けている。 |

## ５．学習計画

| | 単元名 | 学習活動(指導内容) | 予定時数 | 実施時数 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前期 | 実習①　基礎縫い | ・ミシンの基礎縫い<br>・パッチワーク | １３ | | ・実習への取組(主)，振り返り　(思)<br>・授業への取組(知，思，主) |
| 前期 | 実習②　刺繍 | ・刺繍の種類<br>・ステッチの種類と技法<br>・アイヌ刺繍<br>・クロスステッチ<br>・フランス刺繍 | ２０ | | ・実習への取組(主)，振り返り　(思)<br>・授業への取組(知，思，主) |
| 前期 | 実習③　織る | ・織物の組織と構造<br>・いた織り | ５ | | ・実習への取組(主)，振り返り　(思)<br>・授業への取組(知，思，主) |
| 後期 | 実習④　編む | ・編物の組織と構造<br>・かぎ針編みと棒針編み | ２０ | | ・実習への取組(主)，振り返り　(思)<br>・授業への取組(知，思，主) |
| 後期 | 実習⑤　刺し固める | ・羊毛フェルト | ６ | | ・実習への取組(主)，振り返り　(思)<br>・授業への取組(知，思，主) |
| 後期 | 実習⑦　卒業制作 | ・自由制作 | ６ | | ・実習への取組(主)，振り返り　(思)<br>・授業への取組(知，思，主) |
| 計 | | | ７０ | | |

## ６．単位認定の要件

欠課時数が３割を超えないこと。
学年末評定において「１」が付かないこと。

## ７．教科担任より

○実習中心の学習形態です。欠席すると進度が遅れますので、休まないようにしましょう。作品が提出日までに完成できない場合、放課後等に作業してもらう場合があります。
○考査は実施せず、手芸作品の提出及び実習時の取り組み（主体的な態度）などによって評価します。
○実習は基礎技術を身につける場です。苦手であっても積極的に取り組む姿勢を大切にしましょう。